

第8回 東京高輪病院地域協議会 議事概要

1. 日 時 平成 30 年 2 月 15 日 (木) PM7:00～8:00
2. 場 所 東京高輪病院 4 階会議室
3. 出席者 地域協議会委員 19 名出席
代理出席 高輪消防署救急隊長 小暮文仁
欠席 みなと保健所長 阿部敦子
東京高輪病院 副院長 日山博文・事務部長 菊池恭一・医事課長 島津忠司
4. 要 旨 (●: 委員からの意見等、・: 当院からの報告等、➤: 当院からの回答等)

(1) 開会挨拶

(2) 報告事項

① 前回議事概要の確認と進捗報告について

: 資料「第7回地域協議会議事概要」に基づき報告があった。

○ 港区在宅療養後方支援病床の確保について

: 3月22日に港区と「港区在宅療養後方支援病床の確保及び利用に関する協定書」を締結した。
地域のケアマネジャーからの依頼が、1.5倍程度の相談件数になっているので、浸透はしてきていると思う。

● 9月から、「在宅医療・療養・介護相談連携窓口」をもう1か所増やす予定としており、周知もしていきたい。

○ 地域包括ケア病棟について

: 現在院内移動が4割、院外からの受け入れが6割であり、今度の診療報酬改定でも院外からの受け入れが評価され、趣旨に合っていると考えている。

: 地域包括ケア病棟は港区に3病院、品川区にはない状態となっている。このような病床があることを開業医や住人の方にも知ってもらえるよう広報していきたい。

○ 訪問看護ステーションについて

: 急性期病棟で急性期医療、そして地域包括ケア病棟で回復期医療を行い、また在宅でも患者を診ることにより、ますます地域の開業医や住民の方との繋がりを強くしていきたい。

○市民公開講座について

- 本年度から、事前打ち合わせから参加し関わらせていただいている。
- 参加者も増え、1階の外来ホールが一杯なため、院内5会場に増設した。

○防災訓練について

- 薬剤師や住民の方も参加し、役に立ったと思われる。
- 訓練を通じ見えてきたところもあるので、今後も続けていきたい。

○救急出動について

- 救急出動が年間1%程度増加している。高輪病院は、かなり受け入れをしてくれているので助かっている。

②診療連携の現状について

: 当院と他の急性期病院のそれぞれの病院の機能を生かすため、5病院と連携協定を締結した。

さらに2病院と連携協定の締結に向け調整をしている。

: 開業医 442・歯科 135・企業 24 の 601 施設と連携登録をしている。また老人ホーム 9 施設と連携登録もしており、音楽会の開催も出張して行っている。

- どこかの病院で満床になった場合に、このような連携があれば、どこかで診てくれることになる。

➤当院では診れない診療領域もあり、連携病院に依頼することにより、救急医療を行っていくうえで重要と考えている。

③訪問看護ステーションについて

: 正面玄関からすぐの「医療連携・患者支援センター」脇に訪問看護ステーションを設置する予定としている。

- 医療との連携は重要と考えており、その中でも訪問看護ステーションの開設は心強いと思っている。地域のケアマネジャーとの交流も含め勉強会ができればと思っている。地域の共通の課題を話せる機会を作り一緒にやらせていただければと思っている。

- 訪問看護活動の中で、訪問先で救急車を要請する場合もあるが、高輪病院に事前に連絡をし、受け入れ態勢を整えてもらえると助かる。

④市民公開講座について

：ここ数回は300人近い参加となっている。高齢者相談センターの職員の方にも参画いただき委員会で興味のある題材を選定していることが反映しているのではないかと考えている。町内会の掲示版での広報など協力をいただいている。

●他の演者と事前に打ち合わせることで、高輪病院がどのような資源を持ち、どのような内容を盛り込むかを含め、意見交換できたことは有意義であった。

(3)閉会挨拶

(了)